

人類救済の基本原則

滝 沢 輝

人類救済の基本原理

人類救済のための原理・原則について説明します。

救済とは何なのでしょう。人類は天界から放射された光です。天界は調和の世界ですから、社会は本来調和で満たされているはずですが。

しかし、現実には様々な不調和で混乱しているように見えます。なぜ不調和になるのでしょうか。

最大の原因は、社会全体に対する無理解だと思われれます。人類、社会全体に対する正しい理解がないまま活動しているため、不調和な想念（業念）を発したり、不調和な行為を行ってしまう場合があります。また、制度矛盾に気づいていないため、社会が不調和になっている場合もあります。

人類全体の業想念の影響もあります。人類全体を覆う歪んだ想念の悪影響で、本心ではない言動を行ってしまう場合があります。

従って、人類を本来の調和した状態に戻すためには、社会全体に正しい理解を広めることと、業想念を除去することが、共に重要ということになります。

ここでは、両者（業想念除去、正しい理解）を実現する方法について説明します。業想念は天界の光を当てると消えます。業は実在しないのです。よって、天界（実在の世界）の光で消えてしまうのです。

人が発する光の強さは、霊位により異なります。霊位が高い人ほど光が強くなります。光を発することにより、業を消去します。この時、業消去により徳が与えられます。この徳により、自身以外の人々の霊位を高めまします。すると、自分自身の霊位が上昇します。霊位が上昇すると、光が強くなります。業を消去するスピードが速くなるのです。よって、業の消去と自分以外の人々の霊位上昇を継続して行うことにより、自分自身や人類全体の霊位が飛躍的に向上することになります。結果として人類全体の光が強くなり、業想念が全て消えてしまうのです。

霊位（ある人が発する光の強さ）を $E(t)$ とします。

霊位は業の消去により上昇します。この霊位の変化率は霊位（光の強さ）に比例します。

$$dE/dt = k \times E \quad \dots (1)$$

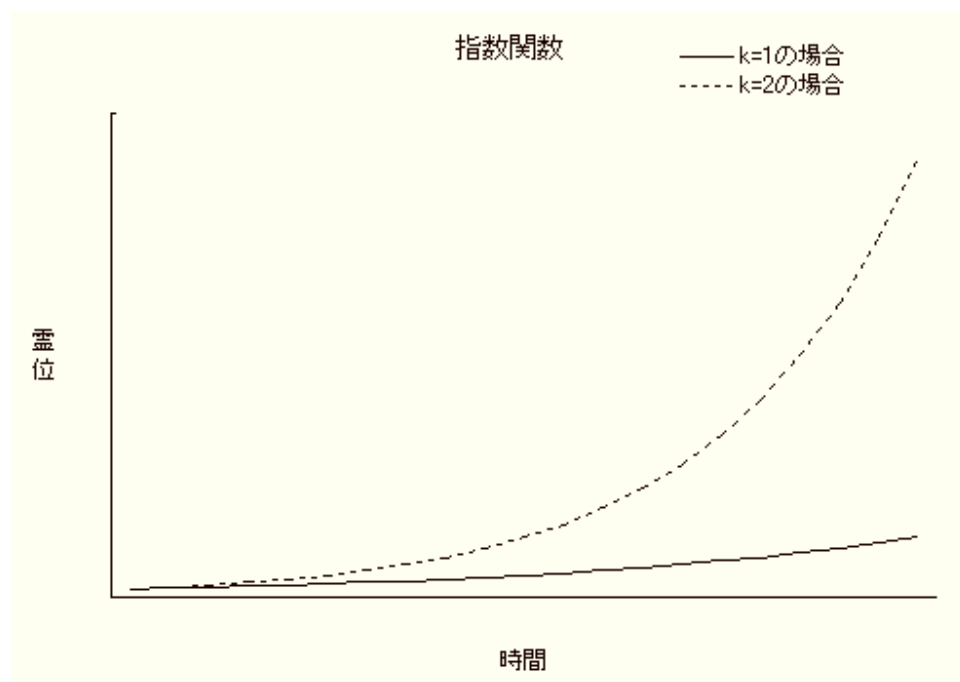
（左辺：霊位の変化率、 t は時間。 右辺：定数 k × 霊位 ・ ・ 霊位に比例するの意）

$$E = a \times \exp(k \times t) \quad \dots (2)$$

(2) は(1) の微分方程式の解になります。 $\exp(k \times t)$ は、 e の $(k \times t)$ 乗という意味です。 $(e$ は自然対数の底 2.718...)、 a は定数になります。

以上から、業の浄化と自分以外の人々の霊位上昇を同時に行うと、霊位 (E) は指数関数的に上昇することになります。

E (霊位) が指数関数ということは、時間の経過と共に霊位は無限大といえるほど上昇するという意味をしています。



(kが大きい方が、霊位は急上昇する)

このように霊位が上昇し、天界の光が強くなれば、業想念は完全に消えてしまいます。そうすれば、業想念による不調和はなくなります。

また、霊位上昇は生命力 (創造力、理解力) が強くなることを意味します。社会全体に対する正確・高度な理解が広まり、制度矛盾を正すことにより、社会全体が調和するので

このように、業想念の除去と正確な理解により、人類の完全調和が実現するのです。

霊位上昇速度を最大にする方法

人類救済の根本原則では、霊位上昇が指数関数に大きくなることを示しました。しかし (1) (2) 式のkの値によっては、指数関数の効果は大きく異なります (kが大きい方が、霊位上昇が速くなる)。自分以外の人々の霊位を向上させる方法によって、霊位の向上速度が違うのです。

霊位上昇速度が最大になる方法は、以下になります。

1. 全ての人々（全世界の人、祖先を含む）に対して、平等に霊位上昇を行う。
2. 全ての人々（全世界の人）に対して、平等に積徳を行う。
3. 全ての人々（全世界の人）に対して、 受けた価値 < 与えた価値
の関係を実現すること。

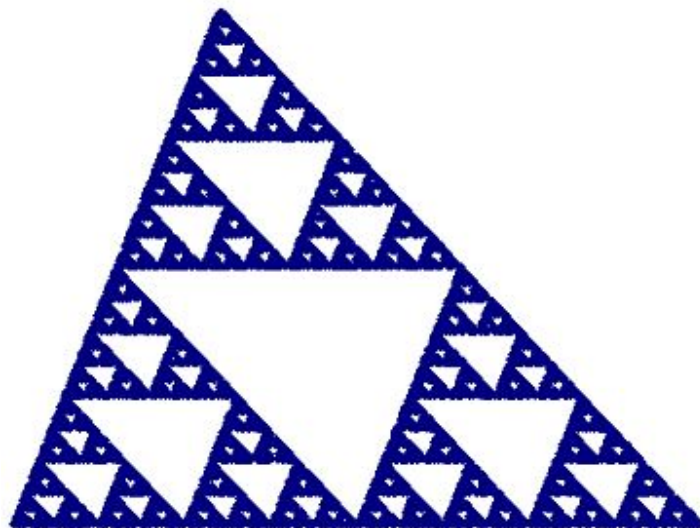
1. の霊位上昇は内面意識（心、魂）の向上を意味します。2. の積徳は表面意識（通常の意識）への徳光（創造力、活動エネルギー）の蓄積を意味します。内面意識と表面意識の光のバランスを保つことが、長期間の安定した修行に必要なのです。

祖先など、この世界を卒業された方々は、内面意識を通常の意識として活動しているため、表面意識（私たちの通常の意識）への徳の蓄積という考え方が存在しません。よって、2の積徳対象に、祖先は含まれていないのです。

霊位上昇、積徳を自身以外の人に対して行うためには、自分自身で徳を積み、それを自分以外の人々に提供しなければなりません。まず自身で徳を積む必要があるのです。この努力なしには、何ごとも始まりません。

この方法が霊位上昇に最も効果があるのは、世界の構造原理から説明可能です。それは、世界がフラクタル構造でできているという点です。

フラクタルとは、大小の同型構造です。点に宇宙が内包されている構造です。（「5次元理論ご参照」



(フラクタルの例)

全ての存在は、互いに内包しあっているのです。Aさんは宇宙を内包していることになり、Bさんも宇宙を内包しています。AさんはBさんを内包しています。BさんもAさんを内包しています。私たちは、互いに周囲の人々を内包しあっています。共有関係で成立しているのです。

また、世界は回転構造で成立しています。無限遠の点は、自分自身なのです。自身から始まり、自身で終わる、これが世界の構造なのです。世界とは、自身の意識で映し出した結果なのです。

周囲の人々に影響を与えると、その影響は自身に戻ってきます。自身を構成しているのは、自身が周囲に与えた影響なのです。ですから、周囲の人々に積徳を行うと、それがそのまま自身の積徳になるのです。周囲の人々の霊位を上昇させると、自身の霊位向上につながるのです。

逆に言えば、一人で霊位向上を図るのは不可能ということになります。

山ごもりの修行で悟りを開こうとする場合、背後で指導神霊が修行者を導いているのです。修行の成果は、指導神霊の導きが無ければ不可能です。神霊は、修行者を導くことにより、神霊自身の霊位が向上することを知っているのです。結局、山ごもりの修行を行っても、一人で修行しているわけではないことになります。

全世界の人々を平等に導く必要がある理由は、積徳の効果が最も大きくなるためです。人々は自分自身を互いに共有しあっています。徳光を与える徒に自身に戻ってくるのは、徳光を共有しているためと考えることができます。この共有において、人数が増えるほど、共有するパターンが増加し、全体の積徳量が増えるのです。人類全体で徳光を共有すると、全体の積徳量が最も多くなります。ということは、周囲に与える積徳量が最大なることを意味しています。これは、自身の積徳量が最も多くなることを意味しているのです。

霊位上昇についても同様です。多くの人の霊位上昇を行うほど、自身の霊位上昇速度は速くなります。人数が減るほど、霊位上昇速度は遅くなります。ですから、常に全ての人々を平等に導く必要があるのです。

3. の「価値」には徳（創造力、活動エネルギー）が含まれます。
3. が成立する根拠は、霊界のルールです。

天界以上の神霊は全ての天界未満の霊（地球人類のみ）に対し、与えた価値の方が受けた価値より多い状態を実現しています。

この状態を実現しないと、天界に入ることができません。

3. は、霊位上昇に必須のルールなのです。

実際には、霊位が上位の人に対して3. を実現するのは困難かもしれません。
実は、この困難さが霊位の差を表しているのです。

霊位は支える側、支えられる側の関係を示しています。
霊位が上位の霊は、霊位が下位の霊を支えています。

3. の実現に向けた活動を継続すると、自分が支える人(受けた価値 < 与えた価値 の
関係を実現した人)が増えます。

これは、支えられる側から支える側に自身の霊位が変わることを意味します。
これはそのまま霊位上昇を意味します。

このように、3. を行えば行うほど、霊位は上昇します。

霊位について

○霊位図○

霊位	段階	オーラ半径	日本人		差
			(2008年6月)	(2001年4月)	
全体意識	—	—	—	—	—
天界	15	132 (km)	—	—	—
	5	1070 (m)	—		
	1	156 (m)	—		
如来界	6~8	35~96 (m)	—	—	—
	4~5	14~35 (m)	32 (人)		
	1~3	3~14 (m)	17500 (人)		
菩薩界	5	2.1 (m)	24600 (人)	—	24600 (人)
	4	1.3 (m)	127 (万人)	1~9 (人)	127 (万人)
	3	0.8 (m)	460 (万人)	100 (人)	460 (万人)
	2	0.5 (m)	1610 (万人)	1300 (人)	1610 (万人)
	1	0.3 (m)	2250 (万人)	5 (万人)	2245 (万人)
霊位プラス		0~0.3 (m)	5810 (万人)	9050 (万人)	▲3240 (万人)
霊位マイナス			2350 (万人)	3600 (万人)	▲1250 (万人)

○霊位とはたらき○

霊位図の霊位（段階）1段階で、オーラ半径は ϕ （1.618：黄金分割比）倍の差になります。

如来界の上位の世界が天界になります。天界とは、業念（実在しない念）が全く無い世界のことです。完全調和の世界です。この霊位に到達すると、すべての業念を自身のオーラで浄化（消去）することが可能になります。神霊治療等も可能となります。

天界15段目になると、オーラの半径が100 (km) を超えます。大宗教（仏教、神道、キリスト教）の中心的指導神霊は、これ以上の霊位に到達しています。莫大な光で大勢の人々を導いているのです。

輝の神様（輝の会本尊/滝沢輝の内面意識）も、これ以上の霊位に到達しています。

○霊位の上昇○

日本人の霊位の状況を図に示しました。（2001年4月 と 2008年6月 の比較）
（2001年4月）の人数は、著書 「釈迦を超えた日」 に記載した内容です。

この7年間で、霊位が大きく上昇していることがわかります。

「釈迦を超えた日」「5次元理論」「マイナス金利の導入」「外国為替理論の再構築」等により正確な理解を広めたことが、大きな要因と考えられます。

また、「輝の会」の修行方法では、すべての人々の霊位が向上します。この修行により、人類全体（日本人を含む）の霊位が上昇しているのです。

○人類の更なる向上○

以上の説明から、宗教・科学・経済等に関する正確な理解を広めること、及び人類全体の霊位向上につながる「輝の会」の修行が、人類全体の霊位向上、発展にとって極めて重要だということをご理解頂けると思います。

滝沢 輝（たきざわあきら）の経歴・活動実績

1985年	宗教家としての活動を開始。
1989年	東京大学工学部卒業、三井銀行（現三井住友銀行） 入行
1994年度	「これから情報通信革命が起こる。パソコンが銀行になる。システムを戦略部門にすべきである。」 と（さくら）銀行に提言。この後、さくら銀行は日本初のインターネット専門銀行（ジャパンネット銀行）を設立する等、IT戦略で銀行業界のトップを独走。この動きが各産業界へのIT導入や日本のIT戦略へつながった。 上記提言が日本のIT戦略の原動力になったのである
1995年6月	総合企画部配属。ALM 担当。
1999年7月	霊位が釈迦、イエスを超える。（釈迦より霊位の高い方は、他にもいます）
2000年6月	5次元等研究のため、退社。
2000年12月31日	ピラミッド形（万物の創造原理、かつ磁界エネルギー（人の活動エネルギー）生成装置を天より授かる。 イエスの再臨 である。
2001年9月	「釈迦を超えた日」を出版。5次元を提唱。
2003年2月	「5次元理論」（本書）を出版。世界がフラクタル構造（点に空間が内包されている構造）であることを理論的に解説。5次元導入による物理学の全面的な改定作業の必要性を提言。
2003年6月	「マイナス金利の導入」を著述。日本経済再生のため、経済理論の再構築を実施。名目経済成長率と金利水準が一致すべきであることを理論的に解説。1990年代以降の不景気の原因が、高すぎた金利水準であることを同時に証明。金利水準と名目経済成長率の関係を逆転させることにより景気・財政の回復を図るべきだと主張。本書を政府・日銀等に送付後、金利を下げるべきとの認識が国内に広まり、景気回復の原動力となった。リーマンショック後の世界各国における低金利政策の理論的根拠にもなっている。
2004年1月	フラクタル構造に電磁波を蓄える性質があることが確認される。 （朝日新聞の1面に掲載）。 「5次元理論」の内容の一部が学術的に確認されたことになる。
2005年	「5次元理論」の続編の執筆を開始。基本構造について、日本物理学界等へ送付。
2005年	天界入りを果たす。（天界は指導神霊の世界）
2006年11月	「5次元理論 ～その2」を著述。日本物理学会等へ送付。
2007年	「貨幣へのオプション概念の導入」「外国為替理論の再構築」を著述。各方面へ送付。
2008年6月	人類救済のため、「輝の会」設立。「人類救済の基本原則」を発表。
2009年8月	「フラクタル経済理論」を著述。バブル発生理由の理論的解明に成功。
2009年10月	「5次元理論 第3巻 認識の原理」を著述。5次元のアウトラインを解説。
2011年10月	「5次元理論 第4巻 宇宙の創造原理」を発表。
2011年11月	創造神界入りを果たす。
2011年12月	「長寿サービス」をスタート。人類の長寿化開始。キリスト教の千年王国の実現である。

2011年12月 「磁界エネルギー（オーラ）発生装置」を発表。磁界エネルギー（オーラ）を機械的に生成することに成功。

2012年2月 「5次元理論 第4巻 宇宙の創造原理」を日本物理学界へ送付。

2012年7月 野田首相に「原子力発電全廃は必須」というタイトルの提言を実施。その結果、2012年9月14日に「2030年代に原発稼働ゼロ」を目指す新しいエネルギー政策「革新的エネルギー・環境戦略」が政府から発表された。本提言が、日本の原子力政策を正しい方向に導いたのである。

2012年11月 「フラクタル経済理論第2巻」を発表

現在 輝の会会長

2008年11月4日 人類救済の基本原理 初版発行

2013年6月6日 人類救済の基本原理 第2版発行

ホームページ <http://taki-zawa.net> （「輝の会」で検索して下さい）

メール info@taki-zawa.net

Copyright ©Akira Takizawa all rights reserved.